

# 平成31年度(令和元年度) 社会福祉法人 村上市社会福祉協議会事業報告

## I 事業実施の概要

- (1) 令和元年度は、村上市社会福祉協議会が中核となり策定した「村上市地域福祉活動計画」（3カ年計画）の実施初年度にあたり、地域住民の”支え合い”の意識高揚を目指した取組みを進めた。当会の新たな取組みとしては、多職種間での交流を持つため行政と協同で研修会を実施し、市内の介護事業者、NPO法人、民生委員児童委員等との交流の場を設け、連携した支援を行うための第一歩となった。
- (2) 当会内部の発展強化計画ともいえるべき「経営改善に資するための提言書」に挙げられる各事業の見直し・強化については、職員から成る業務推進会議をワーキングチームとし、各課の役割を明確にするとともに課を横断した事項については様々な視点から意見交換を行い検討を重ねてきた。  
早急な経営改善が求められる介護事業については、①居宅介護支援事業所の統廃合について、②通所介護事業経営改善等について、③「ヘルパーステーションさんぽく」の運営のあり方について「介護事業経営改善検討結果報告」をまとめ、今後の方向性とした。また、老朽化の進むデイサービスセンターの対処方法について、行政との協議を重ね、利用者・地域へのサービスの継続を前提とした経営改善に取り組んできた。
- (3) 2年目を迎えた「法人後見事業」は関係機関や住民の認知度も確実に高まっている。今後も生活支援課を中心に弁護士や司法書士、行政などの関係機関と連携を強めるとともに、次年度からは住民を対象とした「市民後見人」の養成を進め、地域で支える体制づくりに取り組むことにしている。
- (4) 当市の山北地区は6月の山形県沖地震による被災地となり、多くの関係機関との連携のもと、災害ボランティアセンター機能の一つとして「ゆり花相談所」を設置し、区長や民生委員児童委員の協力を得ながら被災世帯への訪問・支援活動を実施した。さらに、年度末の新型コロナウイルス感染症に係る対応では、休校措置となった子どもたちの居場所「あそび広場」をボランティアの協力により開設し、感染拡大防止対策を徹底しながら地域支援の一つとして対応してきた。
- (5) 今年度は人材育成や職員の資質向上のために人事考課制度を導入するとともに、令和2年度の働き方改革に向けた臨時職員の処遇改善について検討を行った。
- (6) 新型コロナウイルスによる影響に加え、今後災害が重なることも想定しながら、人とのつながりを前提に地域の絆・連携を強めてきた当会にとって、地域への新たなアプローチを模索し、セーフティネット機能を発揮しつつ、住民相互の助け合いで課題が解決できる地域を目指すための方策がより一層求められている。

以下、各事業について報告する。

### ＜職員体制＞（令和2年3月31日現在）

職員総数 **236名**（前年度比 △11名）

単位：名

部署	事務員			介護支援専門員		介護員・生活相談員		看護師		栄養士・調理員		運転員・労務員		計		
	特別職	正職員	臨時	正職員	臨時	正職員	臨時	正職員	臨時	正職員	臨時	正職員	臨時	特別職	正職員	臨時
法人	6	11	13										3	6	11	16
居宅介護支援				15	1									0	15	1
訪問介護						13	26							0	13	26
訪問入浴							3	1						0	1	3
通所介護						24	51	5	22	4	12	1	13	0	34	98
福祉センター			5						2				5	0	0	12
計	6	11	18	15	1	37	80	6	24	4	12	1	21	6	74	156

（兼務職員については、主たる部署・職種に掲載）

## II 事業実施報告

### 《総務課》

☆目標			
「地域福祉の推進」を命題に、多様な課題解決に向けて理事会・業務推進会議等が柱となって社会福祉協議会の基盤整備を図る。			
◎重点取組事業			
(1) 組織の充実・強化			
① 理事会・評議員会他…法令遵守を前提とした適正な組織運営を行った			
・理事会（理事12名、監事2名）			
日程	主な内容	場所	参加人数
6月7日	・平成30年度事業報告・決算 ・金銭管理規程の制定等について ・山形県沖地震対応報告 他	(村上市役所)	13名
6月27日	・理事および監事の選任報告 ・会長他3役の選定について	(村上市役所)	12名
11月13日	・令和元年度補正予算（第1号） ・事業計画中間報告 他	(村上市役所)	14名
2月28日	・評議員欠員補充について ・規則・規程の一部改正 他	(村上市役所)	12名
3月25日	・令和元年度補正予算（第2号） ・令和2年度事業計画・予算 他	(文書審議)	
・評議員会（20名）			
日程	主な検討内容	場所	参加人数
6月21日	・理事および監事の選任報告 ・平成30年度事業報告・決算 ・金銭管理規程の制定等について ・山形県沖地震対応報告 他	(村上市役所)	13名
11月26日	・令和元年度補正予算（第1号） ・事業計画中間報告 他	(村上市役所)	11名
3月31日	・令和元年度補正予算（第2号） ・令和2年度事業計画・予算 他 ・理事の選任 ・規則・規程の一部改正 他	(文書審議)	
・正副会長会議	年間	12回開催	
・監査会		5月24日	
・事務局長・支所長会議	正副会長との合同会議	年間	12回開催

② 各種職員会議

業務推進会議（係長・主任級合同会議） …「提言書」実行ワーキングチームとして協議。	年間 8 回開催
居宅介護支援事業部会（管理者会議）	年間 4 回開催
訪問介護事業部会（管理者会議）	年間 7 回開催
通所介護事業部会 （センター長会議 14回、看護部会 4回、相談員部会 5回、 介護員部会 4回、栄養士部会 3回）	

③ ワンストップ窓口…支所機能を継続し、地域に密着した窓口サービスに努めた。  
主管課へはスムーズな連携を図り、ワンストップ対応に努めた。

④ 職員のモチベーションアップ

- ・臨時職員の賃金改定（業務手当の縮小に伴うベースアップ）。
- ・業務手当（臨時職員全職種対象）継続（今年度緩和措置）。
- ・福利厚生の実質化…福利厚生センター「ソウェルクラブ」に正職員並びに社会保険加入の臨時職員に対して、継続加入。
- ・介護事業所職員へのユニフォーム貸与。
- ・臨時職員の処遇改善の検討。

アドバイザー制度を利用して制度を検討した。

- ・定期的な研修実施

《役職員全体研修》

8月 8日	「市民に支持される社会福祉協議会」	参加者 86名
2月 12日	「高齢者虐待防止・身体拘束防止」	参加者 96名

※各課の外部参加研修については【別表】を参照。

⑤ 会計事務

- ・新会計基準に基づき、適正な会計処理を実施（3カ月に1回、外部会計事務所による巡回監査）

⑥ 職員の能力向上、人材育成

- ・人事考課制度の実施
 

時 期	令和元年10月1日から
人事考課の内容	業績考課と情意考課
考課の対象者	正規職員、嘱託職員、契約職員、準職員

⑦ マイクロバス管理事業

- ・マイクロバス（26人乗り）の無償利用（燃料費・運転代行料は自費負担）
- ・利用団体

村上地域老人クラブ連合会	4 回	更生保護女性会	1 回
村上市身体障害者団体連合会	6 回	手をつなぐ育成会	1 回
戦没者遺族会	3 回	浦田の里保護者会	1 回
村上市民生委員児童委員協議会連合会	5 回	保護司会	1 回
社協事業（昼食会等）	10 回	トライアスロン大会実行委員	1 回
ボランティアバス	1 回		
		合計	34 回

（前年度比 △8回）

⑧ ゆり花会館の指定管理事業

年間利用者数 58,686名 (前年度比 △6,112名)

※ 6月の地震、3月の休館の影響

⑨ 苦情解決…第三者委員会開催の事案はなかった

(2) 財政基盤の強化

① 会費

会員の加入状況

会員種別	会員数	前年度比
一般会員	13,807件	△ 442件
個人賛助会員	777件	+ 4件
企業等賛助会員	361件	△ 7件
団体賛助会員	7件	+ 7件
計	14,952件	△ 438件

② 公費助成

公費種別	内容	補助金額
経常経費補助金(共募除く)	法人人件費等	86,511,231円
受託金	受託事業(市・県)	41,844,118円

③ 基金の運用

基金種別	内容	金額
社会福祉基金	地域福祉事業の実施等	9,027,996円
事業運営安定積立金	経営安定化	46,000,000円

(3) 広報啓発事業の充実

① 広報紙およびホームページの拡充

	内容
広報紙「社協むらかみ」	年間6回発行(偶数月15日付で全戸配布)
ホームページ	12,591カウント(H31.4.1~R2.3.31) (前年度7,948カウント)

② 社協パンフレットの作成

社協の事業内容等をまとめた概要版パンフレット(ホームページからダウンロード可)を活用した周知活動継続。

③ フェスティバルの開催・大会等への参加

● 「ふれ愛フェスティバル」(村上地域社会福祉大会・福祉まつり)の開催

- 9月29日
- 村上市民ふれあいセンター
- <<村上地域社会福祉大会>>
  - ・ オープニングアトラクション: 関川村伝統芸能「えちごせきかわ太鼓龍泉会」
  - ・ 福祉大会表彰(計45名)
  - ・ 記念講演: 原田大二郎さん 「土地の持つエネルギー」

- <<福祉まつり>>
  - ・ 協力団体24団体、寄附団体28団体
- 新潟県民福祉大会（南魚沼市）への参加
  - 10月29日「研究集会」
    - ・ 第1分科会「高齢期における健康で明るい日常生活のために」
    - ・ 第2分科会「誰もが孤立することなく、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指して」
  - 10月30日「福祉大会式典」
    - ・ 表彰者：3名、1団体（村上市出身者）
    - ・ 記念講演：西本真寿美さん 「いつでも・どこでも手軽にできる身体づくり」

#### (4) 地域福祉活動計画の実施・進捗管理（4課共通）

##### ① 広報活動

- ・ 計画の冊子化及び関係機関へ配布。また、当会HPにて周知。
- ・ 4/15付「社協むらかみ」に、計画の概要版（A3両面カラー二つ折り）をはさみこみ、全戸配布。

##### ② 「多職種・異業種交流研修会」実施（8/29）

研修テーマ：「多職種・異業種で考える身寄り問題」  
参加者数：38名

#### (5) 災害に備えた体制づくり（4課共通）

##### ① 6.18山形県沖地震対応

- ・ 日本赤十字社新潟県支部との連携…避難所への先遣活動の調整及び救援物資の依頼。
- ・ 被災地でのニーズ調査、行政との情報共有のもと、災害ボランティアセンター機能の一つである「ゆり花相談所」を開設（6/21～6/28）。
- ・ 民生委員や区長等との協力のもと、アウトリーチによるニーズ把握活動を実施。
- ・ 技術系専門ボランティアとの連携・調整。
- ・ 発災から1ヶ月後に関係機関との意見交換会実施、今後の対応について共有。

##### ② 職員の災害時対応

- ・ 地震等発生時の職員の初動対応についての研修会の開催（8/8）

##### ③ 他団体との連携

- ・ いわふね青年会議所防災事業に協力
- ・ 地震対応の報告…県内社協、中越防災機構からの報告依頼

##### ④ 県外被災地への支援活動

- ・ 千葉県への全国社会福祉協議会関東ブロック派遣（千葉県館山市、10/8～10/11）
- ・ 台風19号による被災地へのボランティアバスツアー実施  
(11/1福島県川俣町、11/28福島県いわき市)

④ 新型コロナウイルス感染防止にかかる対応

【通知等】

- ・2/26 出張や事業の原則中止・延期の通知および感染疑い時のフロー周知（職員向け）
- ・2/27 介護事業所の対応についての通知（職員向け）  
居宅介護事業所への当会通所介護事業所の対応についての依頼（居宅介護事業所向け）  
通所介護利用時の体温測定のお願（通所介護利用者向け）
- ・3/2 公立学校の休校措置に対する対応通知（職員向け）
- ・3/4 訪問介護利用時の体温測定のお願（訪問介護利用者向け）

【医療用品の確保】

- ・法人によるマスク、消毒液購入
- ・通所介護事業所内でのマスク作り
- ・ボランティアによるマスク作りプロジェクト実施

【居場所づくり】

- ・「あそび広場」開設…ボランティアと協力のもと、休校措置の子どもたちの居場所づくりとして開設（3/16～19）  
参加者数：子ども26名、親11名  
ボランティア数：おもちゃの病院ボランティア 31名

## 《地域福祉課》

### ☆目標

「誰もが安心して暮らすことができるまち」を目指して、地域での支えあいが広がるよう、多様な関係機関と連携し住民主体の包括的な体制づくりを進める。

### ◎重点取組事業

#### (1) 住民相互の支えあい活動の推進

##### ① 暮らし支えあい事業

###### ・会員数

	登録者数	実利用者数	利用回数
利用会員	299名 (+44名)	80名 (△1名)	1,751回 (△8回)
	登録者数	実活動者数	(前年度比)
協力会員	112名 (+8名)	51名 (△2名)	

・職員相談等訪問 267件 ・電話相談等対応 1,024回

###### ・協力会員研修会

4月 4日	協力会員研修会	19名
5月 7日	協力会員研修会	11名
6月 4日	協力会員研修会	12名
11月14日	協力会員研修会	23名

##### ② 「地域の茶の間」推進・支援事業

支所	設置数	開催回数	支所	設置数	開催回数
村 上	44カ所	447回	朝 日	23カ所	153回
荒 川	24カ所	485回	山 北	8カ所	74回
神 林	19カ所	225回	計	118カ所	1,384回
		前年度比	+4カ所	△16回	

・開催回数について、3月は新型コロナウイルス感染予防のため中止した所、多数あり

・レクリエーション・講話等支援活動 18ヶ所

・7月11日、17日 地域の茶の間研修会 35名

・3月12日、19日 地域の茶の間研修会 新型コロナウイルス感染予防のため中止

##### ③ 「地域福祉会」の支援【荒川地区】

地域福祉会（27団体）で見守り活動等実施

・3月18日 地域福祉会研修会 新型コロナウイルス感染予防のため次年度に延期

#### (2) 要支援者の在宅福祉サービスの充実

##### ① 一人暮らし等高齢者給食会

支所	実施回数	参加者数	支所	実施回数	参加者数
荒 川	1回	44名	朝 日	2回	68名
神 林	2回	81名	山 北	中止	
		計	5回	193名	
		前年度比	△3回	△236名	

山北…6月の山形県沖地震の影響で会場使用不可のため中止

荒川…3月実施予定の会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止

② 配食サービス

支所	実施回数	実利用者数	配食数
神 林	100回	46名	3,346食
前年度比	±0回	+7名	+371食

③ 歳末たすけあい運動による「おせち料理」の配食

12月30日 民生委員及び区長の協力により実施

※12月一斉改選に合わせ、各地区の民生委員児童委員協議会への説明会実施

・一人暮らしおよび高齢者世帯

支所	一人暮らし世帯	高齢者のみ世帯	計
村 上	456食	276食	732食
荒 川	110食	67食	177食
神 林	95食	67食	162食
朝 日	112食	85食	197食
山 北	172食	90食	262食
計	945食	585食	1,530食
前年度比	+78食	+40食	+118食

・障がい者世帯

支所	計	支所	計
村 上	57食	朝 日	16食
荒 川	7食	山 北	14食
神 林	9食	計	103食

(前年度比△14食)

④ 移送サービス事業（障がい者含）

支所	利用者数	延利用回数
朝 日	23名	135回
前年度比	△6名	△44回

⑤ 理・美容費助成サービス

・高齢者

支所	利用者数	利用回数	支所	利用者数	利用回数
村 上	149名	406回	朝 日	56名	123回
荒 川	52名	134回	山 北	11名	20回
神 林	56名	146回	計	324名	829回
			前年度比	△70名	△88回

・障がい者

支所	利用者数	利用回数	支所	利用者数	利用回数
村 上	1名	1回	朝 日	3名	12回
荒 川	1名	4回	山 北	1名	2回
神 林	0名	0回	計	6名	19回
			前年度比	±0回	△1回

⑥ 高齢者等除雪費援助事業

※12月一斉改選に合わせ、各地区の民生委員児童委員協議会への説明会実施

※暖冬、小雪のため実績なし

(参考)

	利用世帯数	利用回数
前年度	141世帯	148回

⑦ 生きづらさを抱えた人への支援

○「みつば」(みんなのつどうばしょ)の実施

- ・年間21日開催 実利用者26名 延べ利用者148名 新規利用者8名  
3月14日、25日の開催は、新型コロナウイルス感染予防のため休止
- ・対象者 ひきこもり、コミュニケーションをとるのが苦手な人など生きづらさを抱えた人
- ・会場の固定化(12月から) マナボーテ村上など⇒村上桜ヶ丘高等学校同窓会館に固定

⑧ 手話奉仕員・要約筆記派遣事業

・派遣事業

手話奉仕員派遣	34件	要約筆記派遣	2件
前年度比	+9件	前年度比	△18件

・手話奉仕員養成講座(基礎課程)	5/29~10/2(18回)	参加者数	3名
		前年度比	△7名

⑨ 視覚障がい者支援事業(音声による広報等 録音活動)

30回

(前年度比±0回)

⑩ 車イス貸出事業

延利用回数 88回

(前年度比+12回)

⑪ リフト付軽ワゴン車貸出事業

	実利用者数	延利用回数
	11人	36回
前年度比	△1人	△20回

⑫ 敬老会委託事業

支所	助成町内	延利用者数
村上	112カ所	5,589名
前年度比	±0カ所	+78名

※1人当たり1,500円助成

### (3) ボランティアセンター事業

#### ① ボランティアの基盤整備

##### ・ボランティア登録者数

支所	個人	団体		登録者計
		団体数	人数	
村 上	168名	41団体	984名	1,152名
荒 川	31名	12団体	282名	313名
神 林	34名	5団体	123名	157名
朝 日	131名	23団体	238名	369名
山 北	22名	3団体	42名	64名
計	386名	84団体	1,669名	2,055名
前年度比	+67名	+1団体	+550名	+617名

##### ・ハッピーボランティアポイント事業

##### ○登録者数

支所	計	支所	計	前年度比	+63名
村 上	154名	朝 日	103名		
荒 川	25名	山 北	22名		
神 林	32名	計	336名		

##### ○活動実績

48福祉施設のうち、27福祉施設で活動（合計1,543ポイント）

送迎ボランティア1団体で活動（74ポイント）

○プリペイドカード交換枚数（5ポイントにつき1枚と交換） 431枚  
（前年度比+87枚）

○ハッピーボランティアポイント事業検討会 年間4回

#### ② ボランティアの活動支援

##### ・社協デイサービス

瀬波すみれ荘	134名	さわらびセンター	397名		
さくら荘	178名	デイサービス長津	243名		
きわなみ荘・新きわなみ荘	52名	ゆり花荘	14名	前年度比	
		合計	1,018名		+9名

- ・福祉施設イベント等ボランティア（30回） 102名
- ・福祉学習サポーター（3校） 14名
- ・点字通訳ボランティア（3回） 8名
- ・一人暮らし等高齢者昼食会（2ヶ所） 39名
- ・ふれ愛フェスティバル 86名
- ・外出支援ボランティア 92名
- ・朝日お便りボランティア 30名
- ・24時間テレビチャリティーボランティア（5ヶ所） 55名
- ・古切手整理ボランティア 12名
- ・神林地区配食サービスボランティア（100回） 383名
- ・傾聴活動（15回） 41名

・おもちゃの病院（イベント2日）	14名
・おもちゃの病院（放課後子ども教室4日、学童保育所1ヶ所）	29名
・あさひまつり	36名
・ゆり花カフェ	33名

③ ボランティア保険の加入促進

- ・団体加入 79団体、993名
- ・個人加入 9名

④ 各種ボランティア講座の開催

研修会・会議等の開催・参加

4月22日	「朝日地区ボランティア連絡協議会」総会	39名
5月21日	「声のボランティア村上」総会	7名
7月26日	「声の広報」利用者・ボランティア交流会	15名
2月18日	「朝日地区ボランティア連絡協議会」研修会	38名
年間4回	ボランティア説明会	2名
年間10回	「おもちゃの病院」開院日	111名
年間10回	「おもちゃの病院」定例会	83名

(4) 福祉教育・人材育成のための事業

① 福祉協力校等支援

- ・福祉協力校活動支援事業

	小学校	中学校	高校
協力校数	15校	5校	2校

(前年度比 △4校) (前年度比 ±0校) (前年度比 ±0校)

- ・高齢者疑似体験装具貸出事業

小学校	3校	中学校	1校	その他	2団体
-----	----	-----	----	-----	-----

(前年度比 +1校) (前年度比 △1校) (前年度比 △4団体)

- ・福祉学習実施校

小学校	5校	中学校	2校	その他	0団体
-----	----	-----	----	-----	-----

(前年度比 △1校) (前年度比 △1校) (前年度比 △1団体)

② ほのぼのお便り事業

支所	暑中見舞い	年賀状	バースデーカード
荒川	—	272枚	—
神林	227枚	216枚	—
朝日	120枚	117枚	120枚
計	347枚	605枚	120枚

(前年度比 +6枚) (前年度比 △7枚) (前年度比 ±0枚)

(5) 福祉団体等支援事業

① 共同募金運動の推進

共同募金配分金助成団体へ、共同募金のしくみ、使われ方等随時周知

- ・助成交付式 5月23日 53名

② 日本赤十字社活動支援

- ・ 5月1日 おまくばクリーンボランティア（神林地区赤十字奉仕団）
- ・ 6.18山形県沖地震における避難所への救援物資依頼
- ・ 町内および集落に屋外掲示板設置事業

屋外掲示板設置件数	4件	松原町2丁目、岩船三日市、岩船岸見寺町、岩船下大町
-----------	----	---------------------------

③ 各種団体への支援

- ・ 老人クラブ連合会各支部老連の事務支援
- ・ 戦没者遺族会の事務支援
- ・ 身体障害者団体の事務支援
- ・ 民生委員児童委員協議会の事務支援
- ・ 村上市共同募金委員会の事業運営
- ・ 日本赤十字社新潟県支部村上市地区の事業運営
- ・ 朝日地区ボランティア連絡協議会の事務支援
- ・ 手をつなぐ育成会への協力
- ・ 朝日ミニハンディキャブ友の会の事務支援

**(6) 生活支援協議体、生活支援コーディネーター業務**

村上市、村上地区の生活支援コーディネーター関連業務

（第1層および第2層のコーディネーターを市より受託）

- ・ 生活支援協議体の打合せ・会議・座談会・説明会等（年間97回）
- ・ 生活支援コーディネーター・包括支援センター打合せ（年間13回）
- ・ 村上市内生活支援コーディネーター情報交換会（7月16日）
- ・ さわやか福祉財団主催 生きがい・助け合いサミットin大阪（9月9日～10日）
- ・ 村上地区 民生委員児童委員研修会（9月24日）
- ・ 第1層主催 地域の足を考える研修会（9月19日、10月30日）
- ・ 村上地域老人クラブ連合会研修会（12月4日）
- ・ 村上市内生活支援コーディネーター・包括支援センター情報交換会（1月29日）
- ・ 生活支援協議体・生活支援コーディネーター合同研修会（2月17日）

## 《生活支援課》

### ☆目標

- ・市民が抱える様々な福祉相談に対して、福祉に関する情報提供や相談支援を行うとともに関係機関と連携し福祉の推進を図る。
- ・地域で安心して暮らし続けることができるよう、関係機関と連携して生活上の課題を持つ人の権利を擁護するための支援を進める。

### ◎重点取組事業

#### (1) 困りごとを気軽に相談できる体制の構築

近年、各専門の相談機関が増えていることにより、心配ごと相談所の相談件数は減少傾向ではあるが、一定数の相談件数があり、改まった場ではなく気軽に話を聞いてもらえる場としての効果がある。昨年度までの相談件数に応じて、荒川地区および山北地区は開催回数を月1回に減らしたが、山北地区では、相談日に「ゆり花カフェ」を開催するなどの工夫をし、より気軽に相談できる体制を試みた。

#### ① 心配ごと相談所事業

##### ・相談件数

	村上	荒川	神林	朝日	山北	計	前年度末比
開催回数	44回	11回	38回	46回	11回	150回	△ 39回
相談件数	23件	5件	15件	38件	3件	84件	△ 41件

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月の開催を全地区において中止した。

##### ・心配ごと相談所検討会の実施

	村上	荒川	神林	朝日	山北	計	前年度末比
開催回数	11回	1回	1回	2回	1回	16回	△ 3回

- ・村上市心配ごと相談所相談員全体研修会（場所：タウンホテル村上） 2/7実施

#### ② 資金貸付事業

##### ・生活福祉資金等の貸付事業

	村上	荒川	神林	朝日	山北	その他	計	前年度末比
相談件数	14件	4件	2件	1件	0件	3件	24件	△ 2件
貸付件数	2件	1件	1件	0件	0件		4件	0件
完済件数	4件	0件	0件	0件	0件		4件	△ 5件
年度末現在貸付件数	46件	5件	4件	6件	8件		69件	△ 3件

※その他：匿名や関係機関からの相談で、個人が特定できない場合

##### ・生活福祉資金資金別件数

福祉資金	福祉費 障害者用自動車購入経費	1件
	福祉費 住宅移転、給排水設備等経費	1件
	福祉費 その他	0件
福祉資金	緊急小口資金	1件
教育支援資金		1件
総合支援資金		0件

・小口資金貸付事業

	村上	荒川	神林	朝日	山北	その他	計	前年度末比
相談件数	20件	4件	3件	3件	1件	4件	35件	0件
貸付件数	15件	4件	3件	3件	1件		26件	4件
完済件数	19件	7件	3件	3件	1件		33件	10件
年度末現在貸付件数	16件	21件	3件	4件	5件		49件	△ 8件

※その他：匿名や関係機関からの相談で、個人が特定できない場合

(2) 権利擁護活動の推進

日常生活自立支援事業の利用者の中で判断能力の低下がみられた方について、法人後見事業への移行を進めた。また、日常生活自立支援事業の利用がスムーズに進められるよう、生活支援員の確保に努めた。

法人後見の運営委員会は、年4回の定時開催とし、利用者の状況の報告や直面する課題等について、専門職から助言を受け後見活動に生かすことができた。

① 日常生活自立支援事業

・相談等状況

	村上	荒川	神林	朝日	山北	その他	計	前年度末比
相談件数	2件	1件	0件	1件	1件	4件	9件	△ 10件
新規利用	0件	1件	0件	1件	0件		2件	△ 1件
継続利用	10件	3件	4件	3件	2件		22件	1件
利用終了	1件	1件	1件	1件	1件		5件	4件
年度末現在	9件	3件	3件	3件	1件		19件	△ 3件

※その他：匿名や関係機関からの相談で、個人が特定できない場合

※利用終了者のうち1件(村上地区)は成年後見制度(法人後見事業)へ移行

・利用状況

	村上	荒川	神林	朝日	山北	その他	計	前年度末比
生活支援員数	7名	2名	3名	3名	2名		17名	3名
利用者数	10名	4名	4名	4名	2名		24名	△ 1名
利用回数	149回	85回	61回	55回	13回		363回	△ 42回

② 法人後見事業

・受任状況

	村上	荒川	神林	朝日	山北	その他	計	前年度末比
受任依頼	2件	0件	0件	0件	2件	1件	5件	2件
新規	3件	0件	0件	0件	1件		4件	△ 1件
継続	4件	0件	0件	1件	0件		5件	0件
終了	0件	0件	0件	0件	0件		0件	△ 1件
年度末現在	7件	0件	0件	1件	1件		9件	4件

※その他：匿名や関係機関からの相談で、個人が特定できない場合

※新規利用者(村上地区)のうち1件は日常生活自立支援事業からの移行

・その他の相談等対応状況

	制度概要説明	制度利用相談	申立支援等	合計
件数	2件	2件	0件	4件

・受任依頼及び相談等対応先

	制度概要説明	制度利用相談	申立支援等	受任依頼
本人	0件	0件	0件	0件
親族	0件	0件	0件	0件
相談支援事業所	0件	0件	0件	0件
居宅介護支援事業所	1件	0件	0件	0件
地域包括支援センター	0件	0件	0件	1件
行政機関	0件	0件	0件	2件
医療機関	0件	2件	0件	1件
金融機関	1件	0件	0件	0件
専門職 (弁護士、司法書士、社福士等)	0件	0件	0件	1件
その他	0件	0件	0件	0件
合計	2件	2件	0件	5件

・法人後見運営委員会開催 年間4回（5、8、11、2月）

・職員の会議・講師等の派遣

年間 4回	村上市成年後見制度利用支援体制検討会（2名）
年間 6回	村上市成年後見制度利用支援体制検討会ワーキングチーム打合せ（1名）
7月 3日	村上市成年後見制度利用支援体制検討会ワーキングチーム 佐渡市社協視察研修（1名）
9月26日	法人後見実施団体等による意見交換会

### (3) 生活困窮者支援の推進

家計改善支援をより効果的に行えるよう、「金銭等管理要綱」を整備し、要綱に基づき利用者と契約を結び通帳等の預かり管理を行いながら家計改善に役立っている。また、日常生活自立支援事業、成年後見制度等の各種制度や、小口資金貸付事業を有効に活用し支援を進めている。

#### ① 生活困窮者自立支援事業「生活支援センターむらかみ」

・自立相談支援（家計改善支援、就労準備支援を含む）

相談	件数	前年度末比
新規相談	131件	12件
（再掲：本人特定）	111件	6件
継続（前年度より）	78件	15件
終了	91件	1件

支援状況	件数等	前年度末比
弁護士相談	16件	-
生活保護	27件	-
生活福祉資金	5件	-
小口資金	20件	-
食糧支援	34件	7件
新潟セーフティネット事業	3件	2件
就労	13件	2件
福祉就労（A型、B型作業所）	3件	-

・子どもの学習支援

相談・支援	件数等	前年度末比
相談	2件	△ 2件
利用者	6名	1名
支援回数	148回	10回
学習支援員	6名	1名

・支援調整会議

	開催回数	前年度比
全 体 会 議	1回	0回
定 例 会 議	12回	0回
新規プラン	17件	△ 4件
再プラン	5件	△ 7件
評価	24件	△ 3件
終結	17件	5件
中断	2件	△ 1件

・課内ケース検討会議 毎週 1 回開催

・職員の講師等の派遣

5月16日	村上市ケアマネ連絡会 事業説明講師
5月23日	みどりの家職員研修 事業説明講師
6月26日	総合相談会 (地震被災者向け、行政・弁護士等と合同相談会)
6月27日	
6月30日	
10月12日	村上地域暮らしとこころの総合相談会 (第1回)
11月 9日	村上地域暮らしとこころの総合相談会 (第2回)
年間 4回	生活困窮者自立支援制度人材養成研修企画チーム (打合せ、研修会開催)

## 《介護事業課》

### ☆目標

- ・介護保険事業所において円滑な業務を遂行していくために、人材の確保と育成を図り、安定した経営に努める。
- ・介護保険事業所だけにとどまらず、地域全体を支えるための地域包括ケアシステムに参画する。
- ・住み慣れた我が家で自分らしく暮らし続けることができ、また、本人が望む生活を送ることができるように支援する。
- ・経営改善の課題解決方針に取り組む。

### ◎重点取組事業

#### (1) 介護保険事業所の安定した運営の確立

##### ① 居宅介護支援事業

事業所	職員数	年間取扱件数	月平均	法人内サービス提供件数割合		要介護度別割合		
				訪問	通所	要支援1,2	要介護1,2	要介護3～5
むらかみ	3名	1,214件	101件	64.7%	48.3%	7.7%	56.3%	36.0%
あらかわ	3名	1,111件	93件	55.5%	—	22.0%	48.0%	30.0%
かみはやし	3名	1,110件	93件	79.3%	78.3%	23.3%	48.8%	27.9%
あさひ	5名	1,694件	141件	90.5%	68.0%	19.6%	57.1%	23.3%
さんぼく	2名	681件	57件	85.3%	99.7%	27.8%	55.7%	16.5%
計	16名	5,810件	484件	75.1%	73.6%	20.1%	53.2%	26.7%
前年度比	±0名	+196件	+15件	+0.4%	+0.3%	+0.8%	△1.3%	+0.5%

※職員数は令和2年3月31日現在の数値

##### ② 訪問介護事業

事業所	職員数	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間	要介護度別割合		
					要支援1,2	要介護1,2	要介護3～5
むらかみ	10名	67名	8,100回	7,680時間44分	29.1%	55.7%	15.2%
あらかわ	10名	36名	4,220回	3,860時間28分	31.8%	33.0%	35.2%
かみはやし	8名	40名	5,247回	4,112時間51分	27.6%	36.5%	35.9%
あさひ	7名	62名	6,016回	4,483時間38分	29.7%	48.7%	21.6%
さんぼく	4名	44名	2,809回	2,367時間09分	11.8%	67.9%	20.3%
計	39名	249名	26,392回	22,504時間50分	26.0%	48.4%	25.6%
前年度比	△2名	△17名	△2,206回	△1,966時間34分	△1.5%	+3.1%	△1.6%

※職員数は令和2年3月31日現在の数値

##### ③ 訪問入浴事業

事業所	職員数	稼働日数	実利用者数	年間訪問回数
むらかみ	4名	257日	42名	883回
前年度比	△1名	+6日	+7名	+158回

※事業所名称の変更（R元.7から「あさひ」を「むらかみ」に変更）

※職員数は令和2年3月31日現在の数値

④ 通所介護事業

事業所	職員数	定員	年間延べ利用者数	日平均	稼働日数	要介護度別割合		
						要支援1,2	要介護1,2	要介護3～5
瀬波すみれ荘	21名	26名	7,284名	20.1名	363日	19.4%	54.5%	26.1%
さくら荘	20名	30名	7,903名	21.6名	366日	14.0%	59.1%	26.9%
きわなみ荘	17名	25名	5,811名	18.6名	312日	12.4%	52.7%	34.9%
新きわなみ荘	15名	27名	7,070名	22.7名	312日	15.5%	47.4%	37.1%
さわらび	23名	30名	7,455名	23.9名	312日	4.9%	67.8%	27.3%
長津	18名	27名	6,678名	21.4名	312日	18.8%	57.6%	23.6%
ゆり花荘	17名	25名	5,283名	16.9名	313日	23.8%	62.6%	13.6%
計	131名	190名	47,484名	145.1名		15.5%	57.4%	27.1%
前年度比	△11名	+2名	△113名	+1.6名		+1.0%	△0.8%	△0.2%

※職員数は令和2年3月31日現在の数値

※定員増：新きわなみ荘

⑤ 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業

・居宅介護事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	8名	699回	745時間30分
あらかわ	6名	1,069回	884時間30分
かみはやし	4名	461回	477時間00分
あさひ	5名	360回	402時間45分
さんぽく	5名	242回	273時間30分
計	28名	2,831回	2,783時間15分
前年度比	△2名	△101回	△109時間30分

・同行援護事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	3名	61回	127時間30分
あらかわ	2名	29回	85時間30分
かみはやし	—	—	—
計	5名	90回	213時間00分
前年度比	±0名	△53回	△72時間00分

・行動援護事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	0名	—	—
前年度比	△1名	△7回	△7時間00分

・重度訪問介護事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
あさひ	1名	12回	12時間30分
前年度比	+1名	+12回	+12時間30分

・村上市障害者移動支援事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	3名	8回	24時間00分
あさひ	0名	—	—
さんぼく	0名	—	—
計	3名	8回	24時間00分
前年度比	±0名	△7回	△34時間30分

・基準該当生活介護事業（デイサービスセンター事業）

事業所	実利用者数	年間延べ利用者数	月平均
ゆり花荘	3名	249名	20.8名
前年度比	△1名	+1名	+0.1名

## (2) 職員体制の整備

### ① 居宅介護支援事業

- ・利用者が要介護、要支援とも増えた中で、適正な職員体制に取り組んだ。
- ・安定した事業継続のため、事業所統合の方向性について検討を行った。

### ② 訪問介護事業

- ・昨年度より実績が下がっている。適正な人員配置で安定した経営を行っていけるよう、事業所のサテライト化などの検討を行った。
- ・職員が働きやすい環境作りに努めたが、利用希望が込み合う時間帯についてはパート職員の補充が難しく人手不足になるケースがある。

### ③ 訪問入浴事業

- ・常勤職員の確保が継続できたため、安定した運営ができた。代替職員の確保が課題として残っている。

### ④ 通所介護事業

- ・営業日の変更や施設間での職員の配置変更など、実績を考慮しながら人員配置に努めた。各事業所内でも利用人数に合わせて人員配置を行った。
- ・看護師・介護員の臨時職員を募集しているが、応募が少なく、人員補充がされないときもある。

<b>(3) 円滑な事業運営</b>	
① 居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な取扱い件数で事業を実施し、丁寧なケアマネジメントを行うことができた。また、利用者・家族へのアンケートを行い、適切な運営に努めた。</li> <li>3事業所に市の実施指導が行われ、適切に運営されているとの評価を頂いた。</li> </ul>
② 訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険・障がい福祉サービス事業とも適正に運営することができた。</li> <li>各種情報の共有を事業所内の重点目標にし、円滑な支援を行うことができた。</li> </ul>
③ 訪問入浴事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故もなく、適切に運営できた。日々の業務で気になったことは、他のスタッフと共有して、次の訪問までに解決できるよう話し合った。</li> </ul>
④ 通所介護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>人員配置や設備基準、各種加算に対し、毎月点検票を用い確認している。実地指導の内容を各施設で共有し、対応している。</li> <li>介護サービス情報の公開をすることで、定期的に法令を遵守した書類の作成、各種加算取得要件の人員基準の人員配置を行っている。</li> </ul>
<b>(4) 質の高いサービスの提供</b>	
① 居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会議等で利用者の情報共有に努め、より質の高い支援ができるよう努めた。</li> <li>丁寧に一連のケアマネジメントを行い、時々の利用者の現状や意向に合わせたサービスの利用へと繋げた。</li> </ul>
② 訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の心身の状態や体調観察を徹底し、健康状態に変化があった場合は、居宅介護支援事業所等の関係機関に連絡し、在宅生活を支援した。</li> <li>家族の状況に変化等が見られた時にも、ケアプランや援助計画の見直しを提案し、在宅生活が継続できるように支援した。</li> </ul>
③ 訪問入浴事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種間での情報交換・情報共有に努め、在宅生活が継続できるよう支援した。</li> <li>介護に関する相談を受けたり、助言をして、介護者の負担軽減に努めた。</li> </ul>
④ 通所介護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅介護事業所を中心に多職種による包括的なサービスを提供することで、在宅生活が継続できるよう支援した。</li> <li>中重度ケア体制加算・認知症加算取得に係り、個別のメニューを充実させ機能維持に努めた。</li> <li>一人暮らしや高齢者世帯等、様々な家庭環境に配慮し、必要な援助を提供することに努めた。</li> </ul>

## (5) 職員の質の向上

### ① 居宅介護支援事業

- ・各種研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。
- ・2ヵ月に1回開催される包括支援センター主催の村上地域連絡会を通して、地域の課題や必要な情報の収集に努めた。
- ・地域医療の中での介護支援専門員の役割が重視されており、多職種連携関連の研修に意識して参加した。

### ② 訪問介護事業

- ・全事業所で特定事業所加算を算定しており、毎月定期的に内部研修を実施し、資質向上に努めている。
- ・特定のサービスを提供するために必要な資格取得の研修にも参加している。

### ③ 訪問入浴事業

- ・全国入浴福祉大会に参加し、全国の訪問入浴介護の実態やICTの活用事例、在宅緩和ケア医師の講演を聞いた。サービスの向上とスタッフの意識の向上につながった。

### ④ 通所介護事業

- ・認知症加算取得のため、各施設で認知症介護実践者研修を受講した。研修受講者が研修内容を他の職員に周知し、認知症ケアを実践した。
- ・外部研修の他、感染症対策等の内部研修を実施し、対応について知識の定着や対応方法の徹底を図った。

## (6) 介護保険外事業の継続と拡充

### ① 市からの受託事業

- ・要介護認定調査受託事業（居宅介護支援事業）

事業所	年間調査 件数	月平均	事業所	年間調査 件数	月平均
むらかみ	19件	1.6件	あさひ	0件	—
あらかわ	67件	5.6件	さんぼく	0件	—
かみはやし	38件	3.2件	計	124件	10.3件
			前年度比	△37件	△3.1件

- ・介護予防支援受託事業（居宅介護支援事業）

事業所	年間取扱 件数	月平均	事業所	年間取扱 件数	月平均
むらかみ	44件	3.7件	あさひ	332件	27.7件
あらかわ	183件	15.3件	さんぼく	176件	14.7件
かみはやし	240件	20.0件	計	975件	81.3件
			前年度比	+98件	+8.3件

・介護予防ケアマネジメント受託事業（居宅介護支援事業）

事業所	年間取扱 件数	月平均	事業所	年間取扱 件数	月平均
むらかみ	57件	4.8件	あさひ	91件	7.6件
あらかわ	124件	10.3件	さんぼく	110件	9.2件
かみはやし	95件	7.9件	計	477件	39.8件
			前年度比	+33件	+2.8件

※総合事業の訪問介護・通所介護のみ利用する介護予防件数

・村上市在宅介護実態調査業務委託（居宅介護支援事業）

事業所	取扱件数	事業所	取扱件数
むらかみ	46件	あさひ	64件
あらかわ	40件	さんぼく	31件
かみはやし	49件	計	230件
		前年度比	+230件

・軽度生活援助サービス（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	5名	117回	119時間00分
あらかわ	11名	452回	471時間00分
かみはやし	8名	667回	740時間00分
あさひ	2名	32回	43時間30分
さんぼく	4名	142回	163時間00分
計	30名	1,410回	1,536時間30分
前年度比	△2名	△153回	△200時間30分

・要介護老人安否確認事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	安否確認件 数	救急キット 確認件数	事業所	安否確認件 数	救急キット 確認件数
むらかみ	641件	—	あさひ	179件	—
あらかわ	145件	—	さんぼく	212件	—
かみはやし	107件	—	計	1,284件	—
			前年度比	△76件	△812件

・シルバーハウジング生活援助員派遣事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	年間 派遣日数	年間 派遣回数	月平均訪問 世帯数
むらかみ	240日	2,665回	11.1世帯
前年度比	△4日	△162回	△0.7世帯

・ゆーとぴあむらかみ事業（ホームヘルプサービス事業）

事業所	年間 派遣日数	年間 派遣時間	月平均
むらかみ	37日	260時間00分	3.4日
前年度比	△5日	△28時間	△0.1日

・湯ったり塾事業

事業所	年間 延参加者数	月平均
山北支所	841名	70名
前年度比	△47名	△4名

※3月はゆり花会館が休館のため、10回中2回を実施

② 自主事業

・介護保険外サービス（ホームヘルプサービス事業）

事業所	実利用者数	年間訪問回数	年間訪問時間
むらかみ	13名	79回	153時間00分
あらかわ	3名	6回	15時間30分
かみはやし	—	—	—
あさひ	1名	1回	1時間00分
さんぼく	1名	77回	42時間00分
計	18名	163回	211時間30分
前年度比	△2名	△229回	△182時間30分

・生きがいデイサービス（デイサービスセンター事業）

事業所	年間 利用者数	月平均
瀬波すみれ荘	32名	2.7名
さくら荘	49名	4.1名
計	81名	6.8名
前年度比	+2名	+0.2名

(7) 介護サービス事業等経営状況

① 居宅介護支援事業

(円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
むらかみ	5,776,375	△ 1,385,957	△ 345,180	0	4,390,418
あらかわ	7,105,062	250,954	1,406,462	42,000	7,356,016
かみはやし	18,564,472	2,304,922	429,268	0	20,869,394
あさひ	40,950,732	4,083,930	2,610,860	0	45,034,662
さんぼく	△ 7,695,917	△ 2,823,146	264,108	0	△ 10,519,063
計	64,700,724	2,430,703	4,365,518	42,000	67,131,427

② ホームヘルプサービス事業（障害福祉サービス含） (円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
むらかみ	6,405,222	△ 3,324,760	△ 1,895,959	0	3,080,462
あらかわ	26,057,685	△ 89,001	943,403	0	25,968,684
かみはやし	22,385	△ 455,462	1,694,640	0	△ 433,077
あさひ	15,265,516	137,972	1,960,492	0	15,403,488
さんぼく	△ 23,095,361	△ 1,337,080	1,830,080	0	△ 24,432,441
計	24,655,447	△ 5,068,331	4,532,656	0	19,587,116

③ 訪問入浴事業 (円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
むらかみ	17,046,310	1,248,831	1,827,034	0	18,295,141
計	17,046,310	1,248,831	1,827,034	0	18,295,141

④ デイサービスセンター事業（障害福祉サービス含） (円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
瀬波すみれ荘	△ 10,883,094	△ 1,970,117	5,240,248	0	△ 12,853,211
さくら荘	16,375,325	△ 1,259,150	195,988	0	15,116,175
きわなみ荘・ 新きわなみ荘	33,368,405	△ 5,361,552	△ 8,028,212	0	28,006,853
さわらび	33,813,818	10,776,974	8,623,062	0	44,590,792
長津	2,097,959	△ 1,560,772	3,595,818	0	537,187
ゆり花荘	△ 12,813,208	△ 13,916,369	4,448,150	0	△ 26,729,577
計	61,959,205	△ 13,290,986	14,075,054	0	48,668,219

⑤ 総計 (円)

事業所	前期末支払資金残高 A	当期資金収支差額 B	※Bの前年度比	(参考) 他事業拠出金	当期末支払資金 C=A+B
居宅介護支援	64,700,724	2,430,703	4,365,518	42,000	67,131,427
ホームヘルプ	24,655,447	△ 5,068,331	4,532,656	0	19,587,116
訪問入浴	17,046,310	1,248,831	1,827,034	0	18,295,141
デイサービス	61,959,205	△ 13,290,986	14,075,054	0	48,668,219
計	168,361,686	△ 14,679,783	24,800,262	42,000	153,681,903

注1：「当年度の利益額」＝「当期実績額B」＋「（参考）拠出金」

【別表】

○ 各課 外部参加研修一覧

《総務課関係》

5月14日	安全運転管理者等講習（村上市）
6月13日	県社協「評議員会」（新潟市）
6月17日	社会保険算定基礎届事務説明会（聖籠町）
7月 8日	県社協「事務局長会議」（新潟市）
8月21日	県社協「山形県沖地震支援活動報告会」（新潟市）
9月5日～6日	県社協「市町村会長視察研修」（阿賀町）
9月 6日	県社協「令和元年度地域福祉推進セミナー」（長岡市）
9月13日	中越防災機構「山形県沖地震支援活動報告会」（長岡市）
10月26日	新発田市社協「災害ボランティア養成講座」（新発田市）
11月19日	年末調整説明会（村上市）
11月21日～22日	県社協「事務局長会議」（胎内市）
12月11日	人材育成セミナー（新潟市）
1月14日	県社協「台風15号・19号災害支援活動報告会」（新潟市）
2月 4日	県社協「市町村社協BCP研修会」（新潟市）
2月 5日	障害者雇用納付金制度説明会（新発田市）
2月 7日	新潟医療福祉大学「実習報告会」（新潟市）

《地域福祉課関係》

4月26日・5月31日	生活困窮者支援調整会議（村上市）
7月31日・8月30日	
9月30日・10月31日	
11月29日・12月26日	
1月31日・2月25日	
3月18日	
4月22日	新潟県地域包括ケアシステム推進セミナー（新潟市）
6月13日	新潟県生活支援コーディネーター情報交換会（新潟市）
7月30日・9月3日	神林地域活性化協議会安全・快適性部会（村上市）
1月7日・2月9日	
8月24日	関係人口創出事業研修会（村上市）
8月29日	多職種・異業種交流会（村上市）
10月11日	福祉教育推進セミナー（新潟市）
11月 7日	介護予防講演会（村上市）
12月1日・18日	関係人口創出事業に伴うワークショップ（村上市）
11月 2日	新潟県ひきこもり対策連絡協議会（新潟市）
12月10日	村上市相談支援包括化推進会議（村上市）
1月16日	助け合いの学校in中央区（新潟市）
2月 4日	移動支援現地視察研修会（新潟市・燕市）
2月10日	助け合い現地視察研修会（胎内市・新発田市）

《生活支援課関係》

(生活福祉資金関係)

5月21日	生活福祉資金貸付事務担当職員研修 (新潟市)
9月19日	生活福祉資金にかかる意見交換会 (村上市)
3月23日	生活福祉資金(特例貸付に関する)緊急担当者会議 (新潟市)

(日常生活自立支援事業関係)

4月22日	日常生活自立支援事業 新任専門員研修会 (新潟市)
5月30日	日常生活自立支援事業 契約締結審査会 (新潟市)
12月6日	日常生活自立支援事業 生活支援員研修会 (新潟市)
12月17日	日常生活自立支援事業 契約締結審査会 (新潟市)
1月27日	第2回日常生活自立支援事業専門員会議 (新潟市)

(生活困窮者自立支援事業関係)

5月22日	新発田村上地域生活保護受給者等自立促進事業協会 (新発田市)
7月11日	生活困窮者自立支援制度新任支援員研修会 (新潟市)
7月28～31日	相談支援事業従事者養成研修(前期) (東京都)
8月7～9日	家計改善相談支援事業従事者養成研修 (東京都)
8月20～23日	自立相談支援事業(主任)従事者養成研修(後期) (神奈川県)
9月27日	弁護士・弁護士会によるネットワーク構築シンポジウム (新潟市)
11月15日	生活困窮者自立支援制度等従事者研修会 (新潟市)
11月26～29日	自立相談支援事業従事者養成研修(後期)
12月10～13日	自立相談支援事業(就労支援)従事者養成研修(後期)
1月21日	相談援助スキルアップセミナー2019 (新潟市)
2月5日	生活困窮者自立支援制度等従事者研修会 (新潟市)
2月21日	新潟県精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー (新潟市)

(成年後見制度関係)

6月18日	福祉関係者のための成年後見活用講座(入門編) (新潟市)
7月24日	成年後見制度市町村長申立推進研修会 (新潟市)
8月6日	成年後見制度担当者研修会 (新潟市)
9月25日	福祉関係者のための成年後見活用講座(ステップアップ編) (新潟市)
9月26日	法人後見専門員スキルアップ研修 (新潟市)
10月24日	成年後見制度市町村長申立推進研修会<応用編> (新潟市)

(その他)

11月5日	福祉相談員研修会 (新潟市)
12月17～18日	地域福祉コーディネーター研修 (新潟市)

《介護事業課関係》

(居宅介護支援)

5月16日	令和元年度 第1回 村上地区介護支援専門員連絡会
5月20日	令和元年度 新潟県主任介護支援専門員更新研修 (新潟市)
5月25日	
5月27日	
6月17日～18日	
6月26日～27日	
7月1日	

6月4日	第1回在宅ケア関係者のための神経難病セミナー（新発田市）
6月24日	緩和ケア（村上総合病院）
6月26日～28日	令和元年度 新潟県相談支援従事者初任者研修（新潟市）
7月8日	令和元年度 新潟県介護支援専門員「更新研修」「専門研修」専門研修課程Ⅰ（新潟市）
7月12日	
7月29日～30日	
8月7日	
8月19日	
8月26日	
8月27日	
7月18日	村上地区「事例研究会」
7月18日	福祉学習サポーター養成講座
7月29日	令和元年度 第1回坂町病院地域医療介護連携勉強会
8月8日	市民に支援される社会福祉協議会とは研修会
8月18日	市民公開セミナー「知って得する腎臓病」
8月27日	緩和ケア学習会
8月29日	令和元年度多職種・異業種交流研修会
9月5日～6日	令和元年度 新潟県相談支援従事者初任者研修（新潟市）
9月19日	令和元年度 第3回 村上地区介護支援専門員連絡会
10月21日	令和元年度 第2回坂町病院地域医療介護連携勉強会
11月14日	「透析の在宅支援について」研修（新発田市）
11月20日	令和元年度 下越圏域障害福祉と高齢福祉の相互理解を深める研修会(第1回)
12月2日	令和元年度 村上市・関川村介護支援専門員研修会
12月2日	令和元年度 第3回坂町病院地域医療介護連携勉強会
12月2日	自立支援がぶれないケアマネジメント
12月11日	令和元年度 下越圏域障害福祉と高齢福祉の相互理解を深める研修会(第2回)
12月12日	村上総合病院看護師と地域との情報交換会
12月18日	ICT活用推進研修会
12月18日	医師と語る会
12月4日～6日	令和元年度 新潟県介護支援専門員「更新研修」「専門研修」専門研修課程Ⅱ（新潟市）
12月18日～19日	
1月16日	令和元年度 村上地区介護支援専門員連絡会
2月15日	リ・アセスメント支援シート活用、実践編
2月15日	令和元年度第2回村上市・関川村介護支援専門員研修会
(訪問介護)	
4月4日	ささえあい村上 定例会・ミニ研修会「緊急時の対応について」
4月4日・8日	新潟県喀痰吸引等研修(第三号研修) 実地研修
6月8日	公開講演会「若年性アルツハイマーの母と生きる」（新潟市）
6月29日～30日	令和元年度 新潟県喀痰吸引等研修（新潟市）
8月29日～3月16日	新潟県喀痰吸引等研修(第三号研修) 実地研修（全5回）
10月23日	令和元年度 訪問介護事業所集団指導（新潟市）
10月25日	難病患者等ホームヘルパー養成研修（新潟市）
11月18日	
12月2日～3日	サービス提供のプロセスの理解（新潟市）

10月9日～10日	新潟県強度行動障害支援者養成研修(基礎研究)・(実践研修) (新潟市)
11月20日～21日	
2月2日	拡大講演会「意思決定支援はだれがする？」
(通所介護)	
5月28日～30日	令和元年度 新潟県認知症介護実践者研修 (上越市)
6月4日～6日	
6月21日	
7月26日	
6月20日～21日	甲種防火管理者新規資格付与講習
7月11日	令和元年度 新潟県認知症介護実践者研修 (新発田市)
7月16日～17日	
7月24日～25日	
8月19日	
9月18日	
7月22日	リスクマネジメント研修会 インフルエンザ治療薬について
7月22日	患者等搬送事業乗務員定期講習
8月22日	2019年度気づく力研修会 (新潟市)
8月27日	緩和ケア学習会
10月16日	伝える力研修～福祉職員に求められるプレゼンテーション力～ (新潟市)
10月17日	令和元年度 高齢者等保健福祉施設の感染症予防研修会
10月17日	介護事業所リハビリ講習会
10月23日	令和元年度 通所介護事業所集団指導 (新潟市)
11月22日	第2回相談援助職意見交換会
11月29日	応急手当普及員再講習
12月11日	人材育成・定着セミナー 「働き方改革」にどう取り組むか (新潟市)
1月24日	老施協企画研修 「現場職員からみた自立支援介護」 (新潟市)
2月12日	高齢者虐待防止・身体拘束防止研修 (基礎編)
(訪問入浴)	
2月21日	全国入浴福祉研修会(東京都)